




様式 (1)

所長	
	年度
	事業名
課長	地区名
	工事名 (工事番号)
課員	
	<div>施工管理報告書</div> <div>種 目</div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div>年 月 日</div> <div>受注者</div> <div>所長 殿</div>

様式 (2)

出来形管理図表

年度		工事名		測定者氏名									
工種名													
測定年月日													
測点													
測定値	基準高												
	幅												
	厚さ												
基準高  設計値 又は 基準値	上限規格値												
	規格中心												
	下限規格値												
幅  設計値 又は 基準値	上限規格値												
	規格中心												
	下限規格値												
厚さ  設計値 又は 基準値	上限規格値												
	規格中心												
	下限規格値												

様式 (3)																				
測定結果一覧表																				
																			測定者氏名	
設計 計			測定項目																	略図
			(基準値又は規格値)																	
測定 年月日	測 点	設計値 ()	設計値	差	判定	設計値	差	判定	設計値	差	判定	設計値	差	判定	設計値	差	判定			
			測定値			測定値			測定値			測定値			測定値					
			-----			-----			-----			-----			-----					
			-----			-----			-----			-----			-----					
			-----			-----			-----			-----			-----					
			-----			-----			-----			-----			-----					
			-----			-----			-----			-----			-----					
			-----			-----			-----			-----			-----					
			-----			-----			-----			-----			-----					
平均			-----			-----			-----			-----			-----					
最大			-----			-----			-----			-----			-----					
最少			-----			-----			-----			-----			-----					
1. 測定基準は、施工管理基準に基づく。 2. 単位はm単位とし、小数点以下3位とする。 3. タイトルの頭部に、管理工種(例、上層路盤工等)を記入する。 4. 本様式により難しい場合は別途作成する。																				

様式 (4)

整地工測定結果一覧表

1. 測定基準および基準値は別冊施工管理基準による。
2. 総合判定, 基準高は④により判定。均平度は⑤⑥により判定。
3. 単位はmとし小数第2位とする。

測定者氏名

耕 区 番 号 及 び	耕 区 面 積	測 定 年 月 日	① 計 画 標 高 及 び 地 目	測定標高		基準値 mm 指定したとき ±		均 平 度				基準値 mm ±		総合 判定		
				測点毎測定値②				③ 平均 標高	④= ③-① 差 (±)	⑤=②-③				⑥ 最大 と 最少	基準 高	均 平 度
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																
m ²																

様式 (5)

整地工(表土扱) 測定結果一覧表

測定者氏名

耕 区 番 号 及 び	耕 区 面 積	測 定 年 月 日	① 計 画 標 高	② 基盤整地実測標高 (基準値 mm 指定したとき ±)			基 盤 整 地 均 平 度					⑥ 整地実測標高 (整地工測定結果表より転記)				⑦ 設 計 厚 ()	⑧ 基準値 () 厚さ ⑥-②			表 土 扱 厚 判 定				
				測定値②			③ 平 均 標 高	④= ③- ① 差 (±)	⑤=②-③			基準値 最大 ↘ 最少	判定 基準 高	均 平 度										
m ²																								
m ²																								
m ²																								
m ²																								
m ²																								
m ²																								
m ²																								

1. 測定基準及び測定位置等については、整地工に準じる。
 2. 基準高を指定しないで、標高差管理を行う場合も本様式による。この場合標高は仮標高でよい。
 3. 厚さが+値が基準値を超えた場合で監督員の承認を得た場合の判定は合とする。
 4. ⑧欄の()は、設計値との差を+、-mmで表示する。

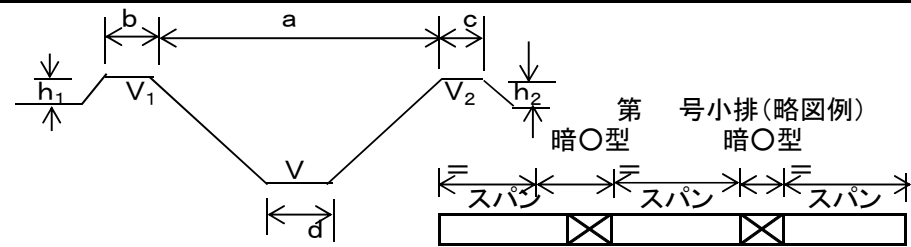
様式 (6)

排(土)水路測定結果一覧表

(縦, 横断面図等で示した場合)

測定者氏名

路線名	測定年月日	延長 <div>基準値</div>			測点番号	基準高 <div>基準値</div>			基準高 <div>基準値</div>			高さ <div>基準値</div>			幅 <div>基準値</div>																
		L				V			V ₁			V ₂			h ₁			h ₂			a			d			b		c		判定
		設計値 測定値	差	判定		設計値 測定値	差	判定	設計値 測定値	差	判定	設計値 測定値	差	判定	設計値 測定値	差	判定	設計値 測定値	差	判定	設計値 測定値	差	判定	設計値 測定値	差	判定	設計値 測定値	設計値 測定値			



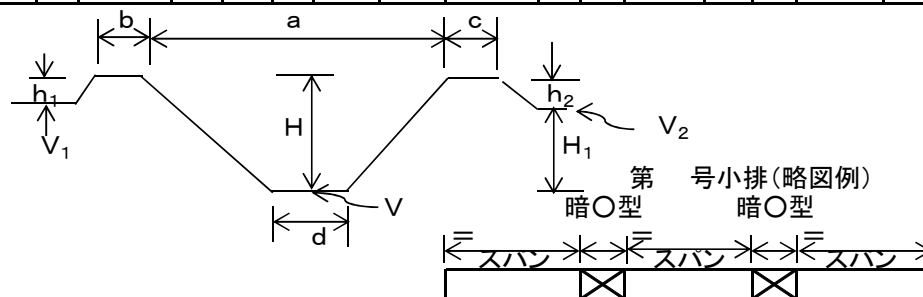
- 1. 本様式は縦, 横断面図等で示された場合に適用する。
- 2. 測定基準及び基準値は別冊施工管理基準による。
- 2. 単位は次による。m単位で小数点以下2桁, 基準高は小数点以下3桁とする。
- 4. h₁, h₂は定規図で示された場合に測定する。
- 5. 路線平面図のない場合は測点は計画平面図等に記入して表示する(路線平面図のない場合)。
- 6. 路線中に構造物のある場合又は断面等の異なる場合は区間別延長等を余白又は別紙に略図で記入する。
- 7. 本様式により難しい場合は適宜様式を作成する。

様式 (6-1)

排(土)水路測定結果一覽表

(標準断面図の場合) 測定者氏名

(標準断面図の場合) 測定者氏名

[illegible]

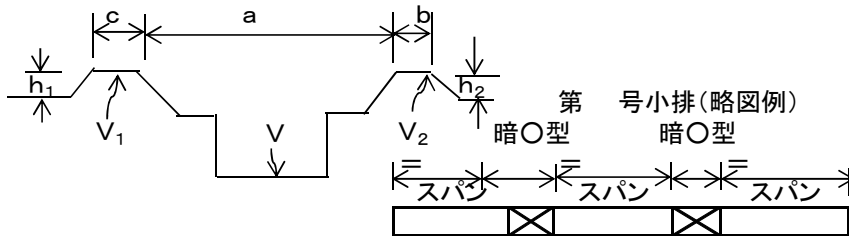
1. 本様式はほ場整備等で標準断面図で施工する場合に適用する。
2. 測定基準及び基準値は別冊施工管理基準による。
3. 単位はm単位とし小数点以下2桁とする。ただしレベル測定値の場合は小数点以下3桁とする。
4. aの設計値はHの高さとの関係値を設計値とみなすこと(左、右堤塘高異なる場合は夫々の高さとの関係値とする)。
5. H_1 の値は低いほうの面からの値とする。(H_1 の値が現地の状況から止むを得ず基準値を超える場合に監督員の承認を得た場合は合格とすることが出来る)
6. ($V \sim V_2$)はレベル測定の場合に適用する。
7. 測点位置は計画断面図等に記入する。
8. 路線の中に構造物がある場合、又は断面等の異なる場合は区間別延長等を余白又は別紙に略図で記入する。
9. 本様式によりがたい場合は適宜様式を作成する。

様式 (7)

排水路(溝型柵渠, 排水フリューム)測定結果一覧表

(縦, 横断面図等で示した場合)

測定者氏名

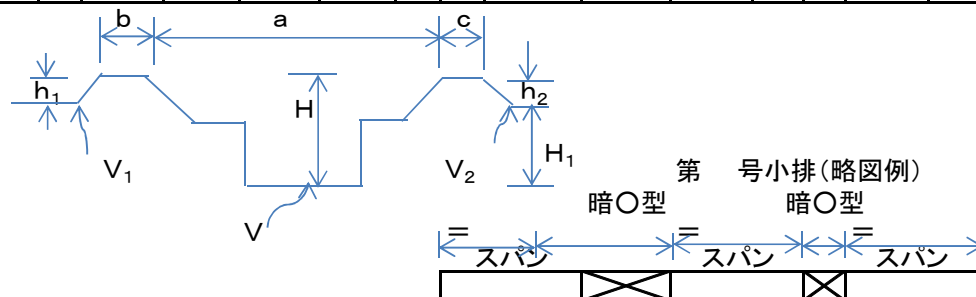
[illegible]

1. 本様式は縦、横断面図等で示された場合に適用する。
2. 測定基準及び基準値は別冊施工管理基準による。
3. 単位は次による。m単位とし小数点以下2桁とする。但し基準高は小数点以下3桁とする。
4. h_1 、 h_2 は定規図で示された場合に適用する。
5. 略図に欄柵寸法を記入すること(幅、高)。
6. 路線平面図のない場合は測点を計画平面図に記入する。
7. 路線の中に構造物のある場合又は断面等の異なる場合は、区間別延長等を余白又は別紙に記入する。
8. 本様式により難い場合は適宜様式を作成する。

様式 (7-1)

排水路（溝型柵渠，排水フリューム）測定結果一覧表

(標準断面図の場合)測定者氏名

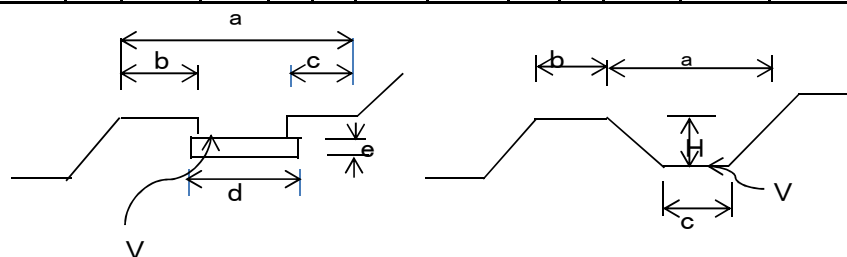
[illegible]

1. 本様式はほ場整備工事において標準断面図で施工する場合に適用する。
2. 測定基準及び基準値は別冊施工管理基準による。
3. 単位は次による。m単位とし小数点以下2桁、但しレベル測点の場合は小数点以下3桁とする。
4. aの設計値は様式6-1の説明4に準ずる。
5. H_1 の値は左右図面の低いほうからの値とする。(止むを得ず現地の状況から H_1 の値が \oplus 規格値を超えた場合で監督員が承認した場合は合格とすることが出来る)
6. $V_1 \sim V_2$ はレベル測定に適用する。
7. 略図に柵渠寸法を記入すること。
8. 測点を実施用平面図に記入すること。
9. 路線中に構造物のある場合又は断面図等のある場合は区間別延長等の略図を余白又は別紙に記入すること。
10. 本様式により難い場合は適宜様式を作成すること。

様式 (8)

支小用水路測定結果一覽表

(基準高を示した場合) 測定者氏名

[illegible]

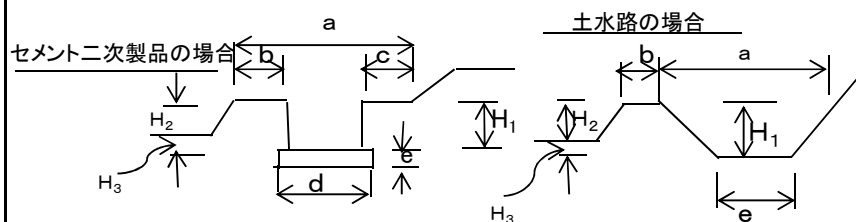
1. 本様式はほほ整整備工事における、小用水路(基準高指定)に適用するもの。
該当しない断面略図は×印を付して抹消する。
2. 測定基準及び基準値は別冊施工管理基準による。
3. 単位は次による。延長及び土水路分はm単位で小数点以下2桁、その他は、
小数点以下3桁とする。
4. 二次製品は夫々の規格によるものとする。
5. 路線平面図のない場合は測点を計画平面図等に記入する。
6. 路線平面図については排水路の例による。
7. 本様式により難しい場合は適宜様式を作成すること。

様式 (8-1)

小用水路測定結果一覽表

(標準断面で施工する場合)

測定者氏名

[illegible]

1. 本様式は、ほ場整備工における小用水路に適用するが、該当しない断面略図は×印を付して抹消する。
2. 測定基準及び基準値は別冊施工管理基準による。
3. 単位は次による。延長及び土工事部分幅高は、m単位とし小数点以下2桁、その他は小数点以下3桁とする。
4. 二次製品は夫々の規格によるものとする。
5. 測定点は計画図等によるものとする。
6. 略図については排水路(例)に順ずる。
7. 本様式により難しい場合は、適宜様式を作成して使用すること。

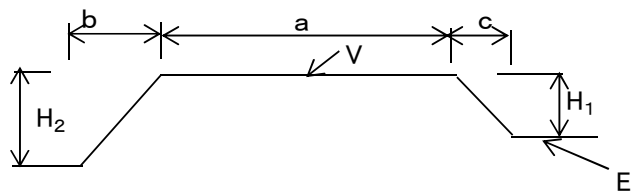
様式 (9)

道路測定結果一覧表

(標準断面で施工する場合)

測定者氏名

路線名	測定年月日	延長 <div>基準値 ⊖</div>			測点番号	基準値 <div>指定したとき ⊕ ⊖</div>			高さ(その1) <div>基準値 ⊖</div>			高 (その2)	幅 <div>基準値 ⊕ ⊖</div>						備考
		L				V			H=V－E又はH ₁			H ₂	a			b	c		
		設計値	差	判定		設計値	差	判定	E	設計値	差	判定	設計値	設計値	差	判定	設計値	設計値	
		測定値				測定値				測定値			測定値	測定値			測定値	測定値	



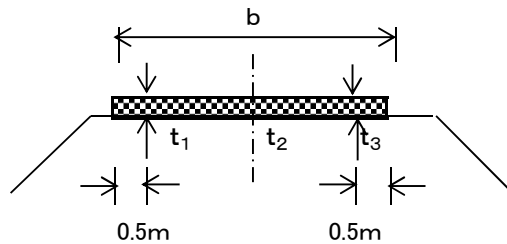
1. 本様式は、ほ場整備工等における道路工の砂利道以下に適用する。
2. 本様式は、基準高を示した場合と示さない場合とに使用できるようにしてあるので、該当しない部分は記入しない。
3. 測定基準及び規格値は別冊施工管理基準による。
4. 単位は次による。m単位とし小数点以下2桁とする。
5. b及びcの値はH₂、H₁と法勾配との関係値を設計値とみなす。
6. H₁が規格値を超えた場合で監督員の承認を得た場合は合格とすることが出来る。
7. 測点は、計画平面図に記入する。
8. 本様式により難しい場合は、適宜様式を作成すること。

様式 (10)

敷砂利測定結果一覧表

測定者氏名

路線名	測定年月日	延長			測点番号	敷厚												敷き幅			備考
		基準値 ⊖				基準値 個々の場合(t ₁ ~t ₃) ⊕10 平均値 t ⊕4												基準値 ⊖ ⊕			
		L				t ₁			t ₂			t ₃			t=(t ₁ +t ₂ +t ₃) 1/3			b			
		設計値 測定値	差	判定		設計値 測定値	差	判定	設計値 測定値	差	判定	設計値 測定値	差	判定	設計値 測定値	差	判定	設計値 測定値	差	判定	

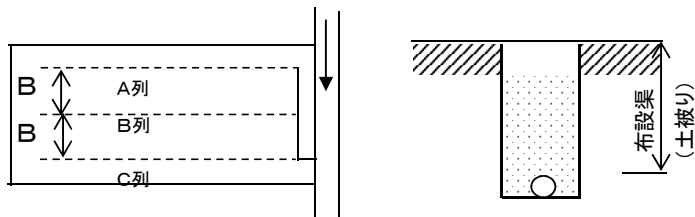


1. 単位は次による。m単位で小数点以下2桁、但し厚さは小数点以下3桁とする。
2. 測定基準及び規格値は別冊施工管理基準による。
3. 測定位置を計画平面図に記入する。
4. 本様式によりがたい場合は適宜様式を作成すること。

様式 (11)

暗渠排水測定結果一覧表(その1)

測定者氏名

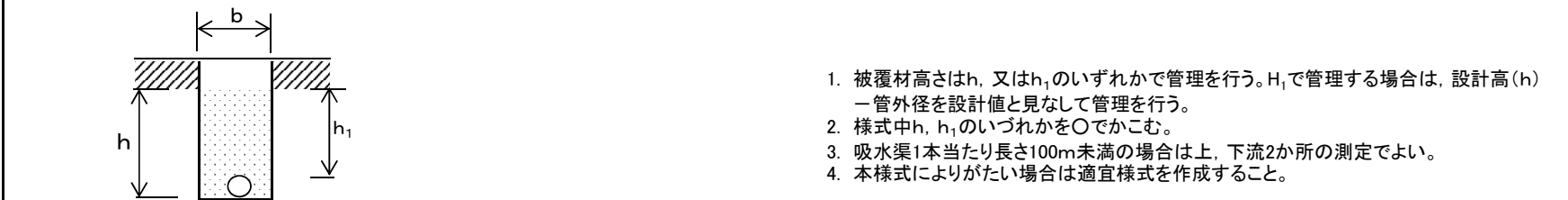
[illegible]


1. 測定基準及び規格値は別冊施工管理基準による。
2. 被覆材については(その2)による。
3. 本様式により難しい場合は適宜様式を作成すること。

様式 (11-1)

暗渠排水測定結果一覧表(その2)

測定者氏名

[illegible]

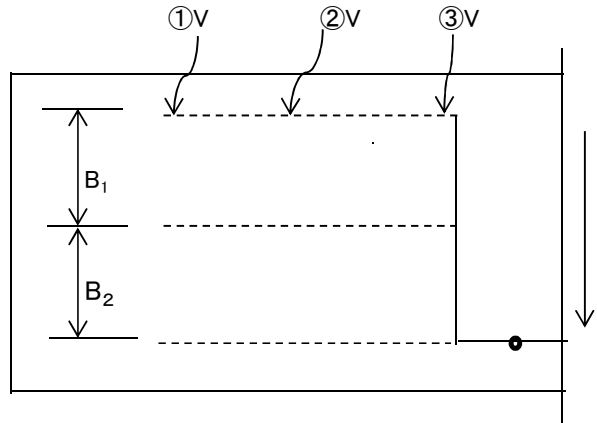
- 
 1. 被覆材高さは h 、又は h_1 のいずれかで管理を行う。 H_1 で管理する場合は、設計高(h)一管外径を設計値と見なして管理を行う。
 2. 様式中 h 、 h_1 のいずれかを○でかむ。
 3. 吸水渠1本当たり長さ100m未満の場合は上、下流2か所の測定でよい。
 4. 本様式によりがたい場合は適宜様式を作成すること。

様式 (11-2)

暗渠排水測定結果一覧表(その3)

測定者氏名

ほ場番号	測定年月日	吸水渠記号	間 隔						①～②間勾配						②～③間勾配						備考
			B ₁			B ₂			①標高	②標高	差	勾配			③標高	差	勾配				
			設計値	規格値	判定	設計値	規格値	判定				設計値	規格値	判定			設計値	規格値	判定		
			測定値			測定値														測定値	
			測定値			測定値														測定値	
								
								
								



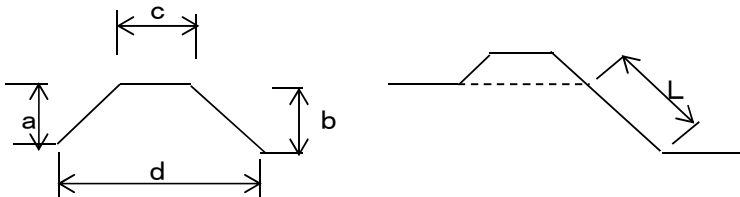
1. 測定基準及び規格値は別冊施工管理基準による。
2. ①②③は吸水渠測定値から転記のこと。
3. 本様式によりがたい場合は適宜様式を作成すること。

※集水渠深さについては吸水渠下流部で管理しているので
勾配のみとした

様式 (12)

畦畔工測定結果一覽表

測定者氏名

[illegible]

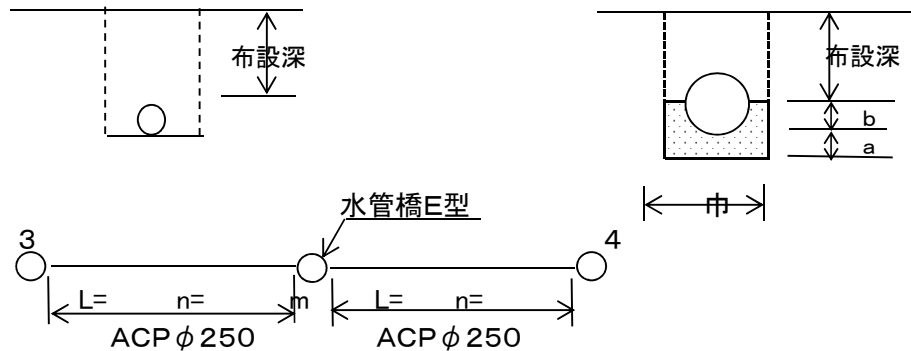
1. 本様式は、ほ場整備事業における畦畔工に適用する。
2. 断面は畦畔毎に1ヶ所の割合で測定する。
3. 単位はm当たりとし小数点以下2桁、延長の場合は小数点以下1桁とする。
4. 段差法面整形が示されている場合は畦畔工と段差法長とを別に管理する。
5. 高さ測定をレベル測定とする場合は適宜様式を作成する。
6. 測定位置を計画平面図に記入する。
7. 本様式によりがたい場合は適宜様式を作成する。

様式 (13)

パイプライン測定結果一覧表

測定者氏名

測定 年月日	測定 路線	測 点 又は測定 ヶ所記号	径	材料	延長	数量(本数)	布設深(○)			巾(基準値○)			厚(a)(基準値○)			厚(b)(基準値○)		
					設計	設計	設計	差	判定	設計	差	判定	設計	差	判定	設計	差	判定
					測定値	測定値	測定値			測定値			測定値			測定値		



1. 測定基準及び基準値は別冊施工管理基準による。
2. 単位は次による・・・延長はm単位とし小数点以下2桁、巾、厚さはmm単位とする。
3. 測点(測定位置)等を配管平面図等に記入すること。
4. 路線中に構造物等がある場合は区間毎、延長等の略図を余白又は別紙に記入する。(パイプ延長を表示する。)
5. 本様式により難しい場合は適宜様式を作成すること。

様式 (14)									
<h2 style="margin: 0;">パイプライン通水試験成績表</h2>									
測定者氏名									
試験ブロック									
試験路線									
設計水圧	P= kg/cm ²								
許容漏・水量	① 設計水圧試験 Q ₁ = ℓ/h ③ 戻し(設計)水圧試験 Q ₂ = ℓ/0.5h								
	② 圧力(P×1.5)試験 Q= ℓ/0.5h								
<h3 style="margin: 0;">試 験 結 果 表</h3>									
年 月 日									
	作業内容	時刻	開始時水圧	加圧補給時刻	加圧前水圧	加圧後水圧	補給水量	結果	備考
設計 水圧 試験 (1h)	試験開始	・	kg/cm ²	・	kg/cm ²	kg/cm ²	ℓ		
	加圧	・		・					
		・		・					
		・		・					
		・		・					
圧力 試験 (0.5h)	試験開始	・		・					
	加圧	・		・					
		・		・					
		・		・					
		・		・					
戻し 水圧 試験 (0.5h)		・		・					
		・		・					
		・		・					
		・		・					
		・		・					

様式 (15)

工杭打成績表

測定者氏名

杭 打 込 月 日	杭番号	(R) ハンマー の重さ (t)	(h) ハンマーの 落下高	(a) 測定前杭頭 の高さ (cm)	(b) 打撃回数	(c) 測定後杭 頭の高さ (cm)	沈下量 $j = \frac{a-c}{b}$ (cm)	(P) 支持力 (t)	摘要
月 日									

設計支持力

使用公式

杭配置図

杭打機の種類